

[記者発表資料]

平成26年9月19日
国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所

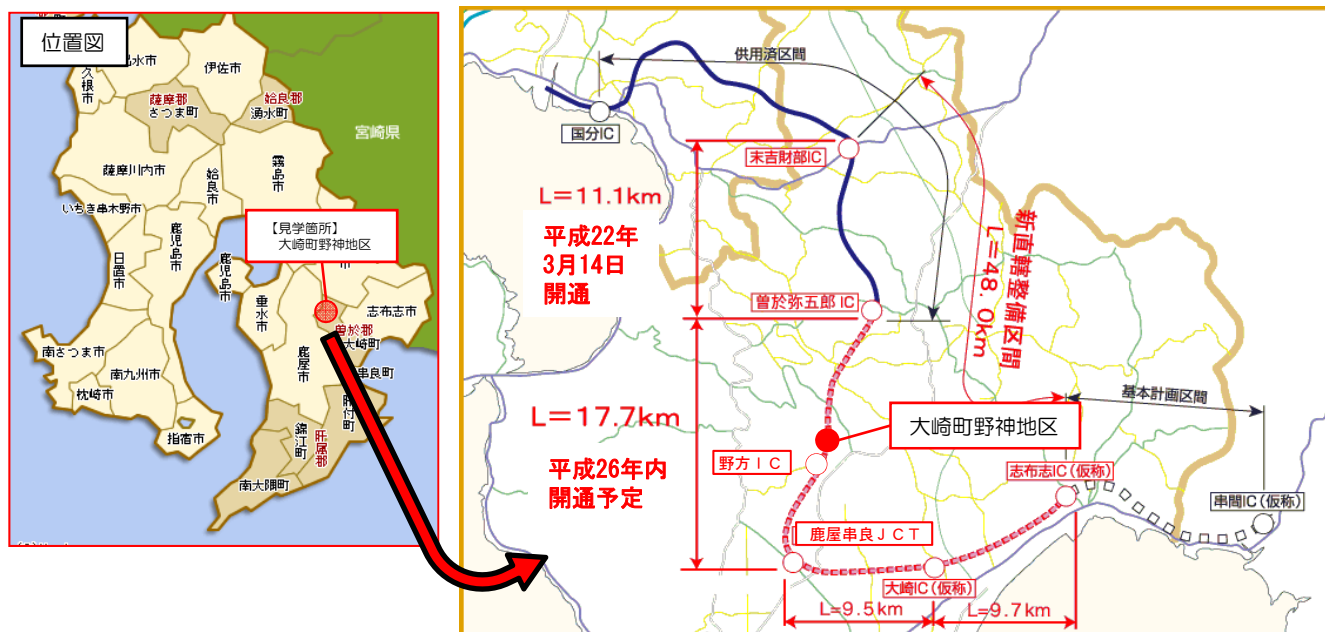
東九州道の沿線自治体職員を対象に、現場見学会を開催します。

国土交通省大隅河川国道事務所では、東九州自動車道（鹿屋串良JCT～曾於弥五郎IC 延長17.7km）について、平成26年内の開通を目指し現在、施工中です。

今回、当事務所管内の東九州自動車道で採用しているコンクリート舗装（スリップフォーム工法）の施工状況について、沿線自治体職員を対象に現場見学会を開催します。

また、見学会では、スリップフォーム工法の施工技術の見知と併せて、東九州自動車道建設の最終工程となる舗装工事の施工状況を確認していただき、間近に迫った開通をより実感していただきたいと考えております。

- 日 時 平成26年9月29日（月）14時00分～15時00分（雨天中止）
○見学場所 大崎町野神地区 コンクリート舗装工事現場
○参加者 東九州自動車道沿線自治体職員 約30名



※工事現場内の駐車場所に制約がありますので、現地取材を予定されている場合は、9月26日（金）までに下記へご連絡をお願いします。

《問い合わせ先》

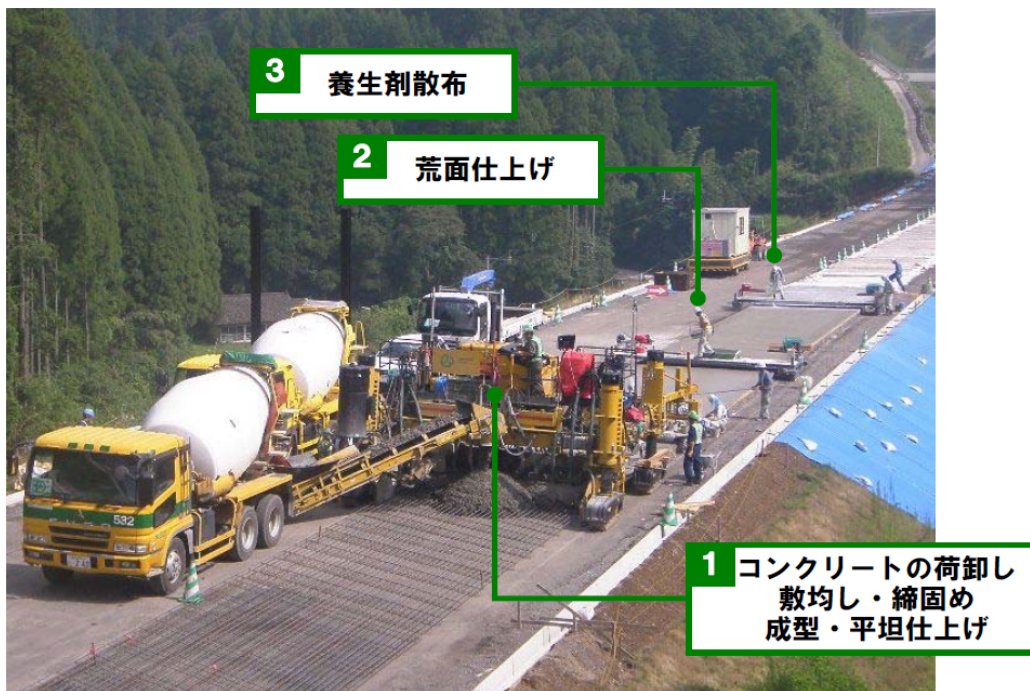
■国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所
工務第三課長 岩熊（いわくま）
曾於出張所長 河野（かわの）
TEL：0994-65-2541（代表）

ノカミ 野神地区舗装工事 工事概要

型枠不要の「スリップフォーム工法」にて、コンクリート舗装を施工」します。

スリップフォーム工法の概要

スリップフォーム工法とは、同一断面の連続したコンクリート構造物を構築するために、締固め装置と成型装置を備えた自走式施工機械を用い、コンクリートを所定の形状に締め固め、成型しながら、連続的にコンクリート構造物を構築する工法です。



今回の施工では、コンクリートの荷下ろし・敷きならし・締固め・成型・平坦仕上げまでの一連の作業をワンパスで行う舗装用中型機を使用します。

コンクリートをバイブレータで流動化しながら締固め、スクリーオーガでならしながらコンフォーミングプレートに押し込み、成型されたコンクリート版の表面をオートフロートにて平坦に仕上げる機械です。

任意の版厚の設定が可能であり、モールド各部の高さを調整することにより、片勾配、両勾配の横断形状が得られます。



スリップフォーム工法の特徴

1

省力化

通常多くの人力に依存するレー尔・型枠の設置を省くことができます。

2

時間短縮

施工能力が高いため、作業時間の短縮を図ることができます。

3

平坦性

仕上がりは、施工管理データを搭載したTSを用いて管理されるので高水準の精度が保たれます。